

リケンテクノス株式会社

2020年3月期

決算説明会

2020年5月21日

目 次

- 2020年3月期決算概要
- 2021年3月期業績予想
- 3カ年中長期経営計画進捗



2020年3月期決算概要



2020年3月期 連結業績サマリー

単位：百万円、円

科 目	2020年 3月期	2019年 3月期	前 期 比	増 減 率	2020年 3月期 業績予想(※)
売 上 高	98,808	97,813	+995	+1.0%	98,000
売 上 総 利 益	17,975	17,741	+234	+1.3%	-
営 業 利 益	5,581	5,761	▲180	▲3.1%	5,300
経 常 利 益	5,670	5,869	▲199	▲3.4%	5,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,064	3,060	+4	+0.1%	2,700
1株当り利益	48.11	47.43	+0.68	+1.4%	42.22
R O S	5.6%	5.9%	▲0.3%	-	5.4%

※ 過去最高

※ 2020年1月31日修正後

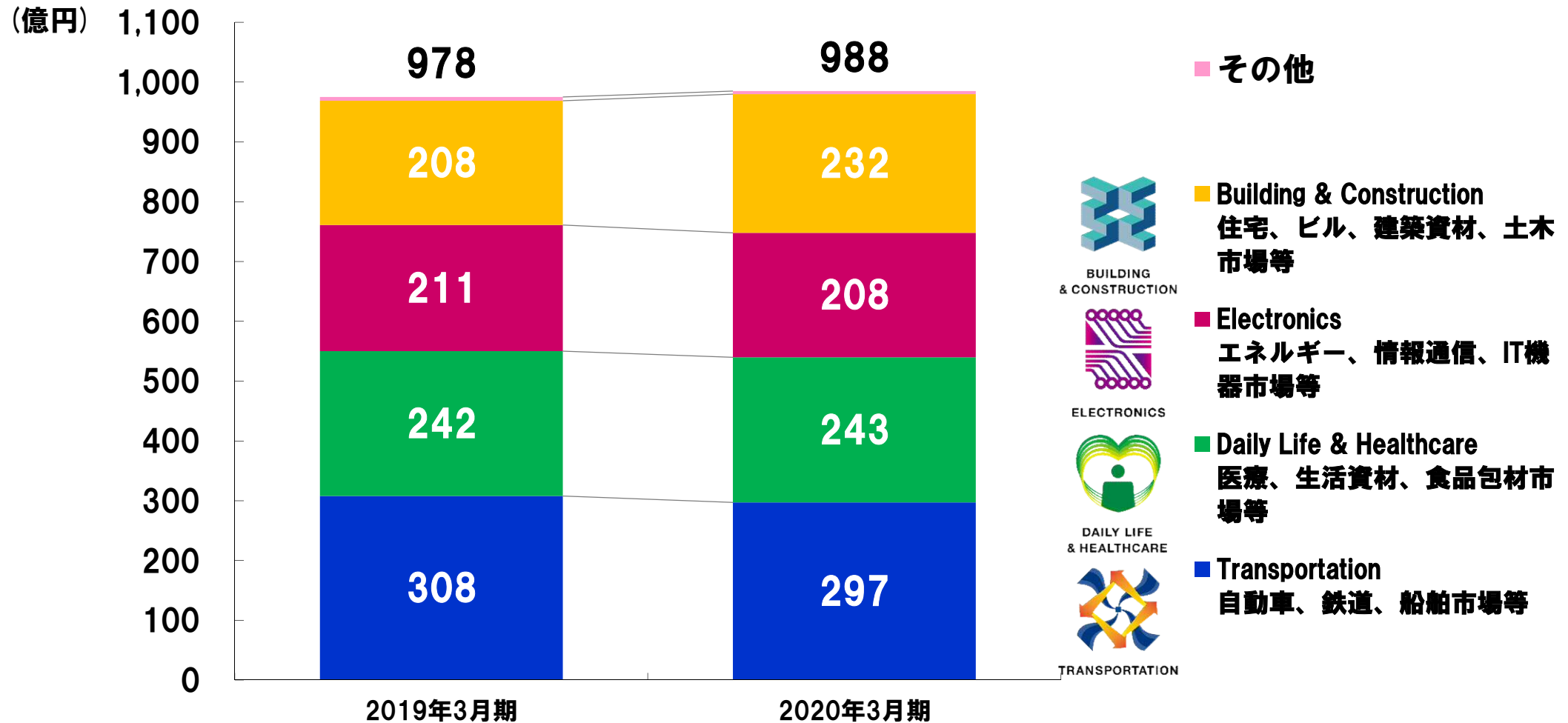


セグメント別売上高推移

2020年3月期 売上高

988億円

前期比995百万円増(1.0%増)

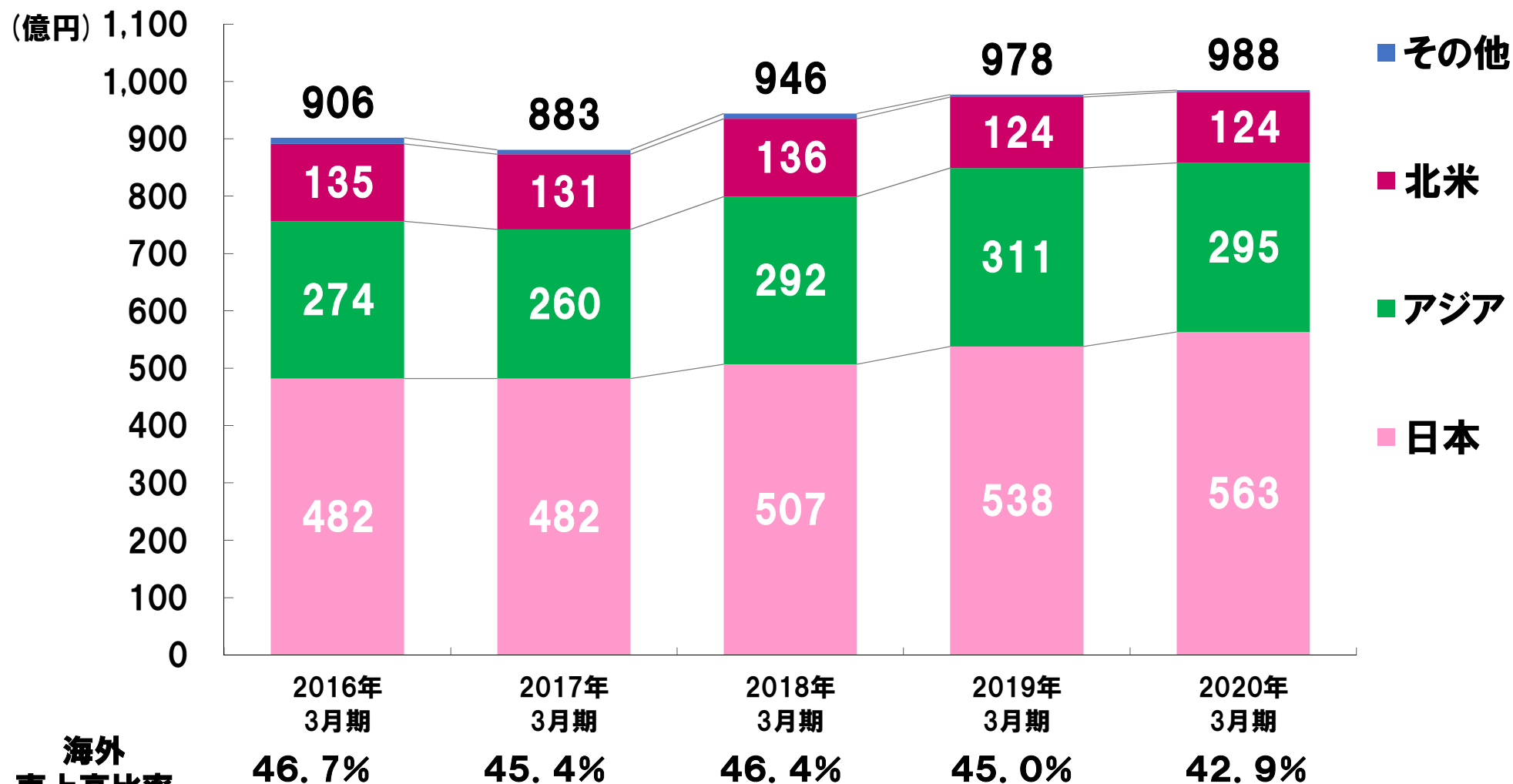


地域別売上高推移

2020年3月期 売上高

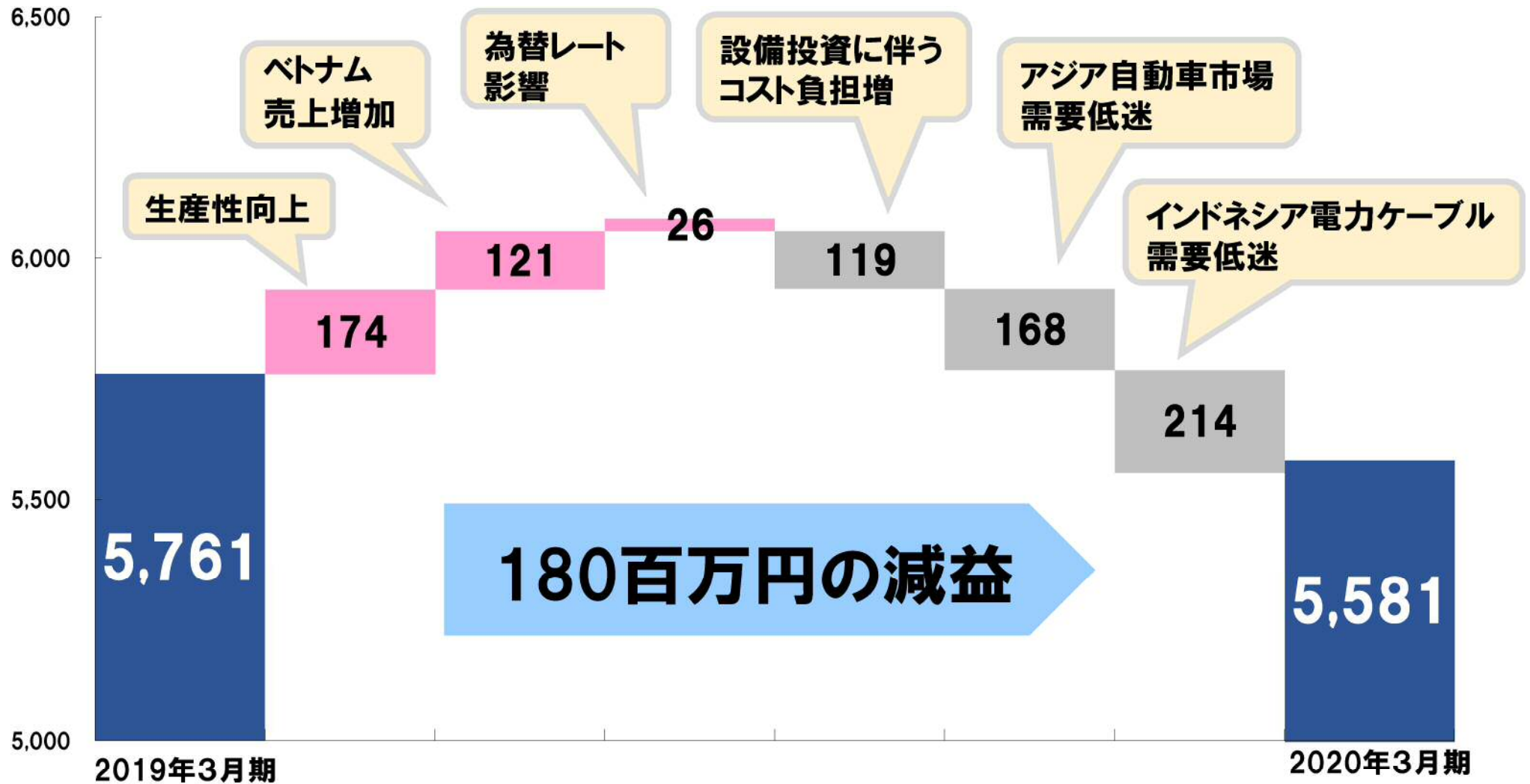
988億円

前期比995百万円増(1.0%増)



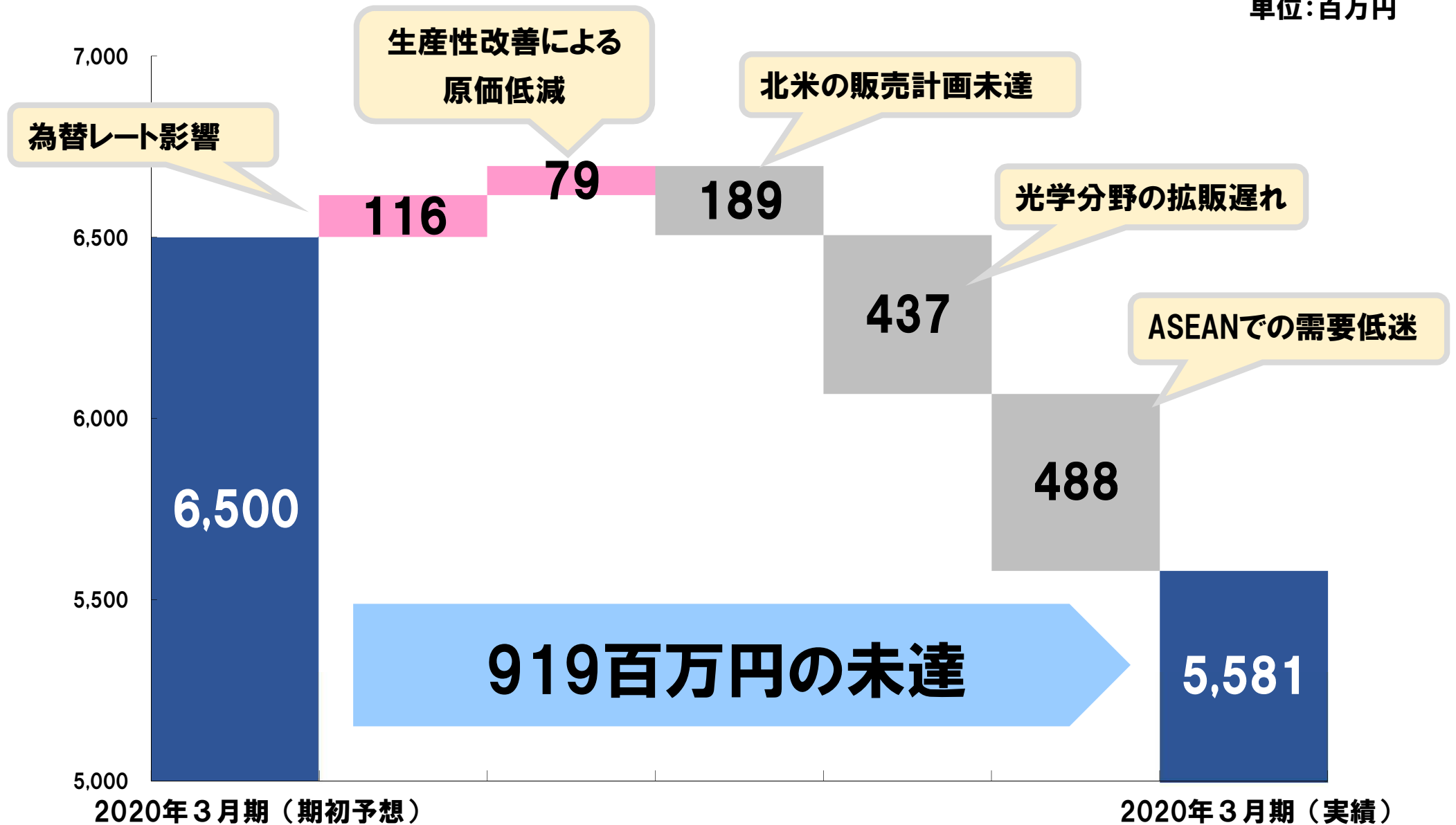
営業利益 前期比 増減要因分析

単位:百万円



営業利益 期初予想比 増減要因分析

単位:百万円



連結貸借対照表 キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

資産合計

91,868百万円

前期末比 3,339百万円減

流動資産 55,807百万円

固定資産 36,061百万円

負債合計

34,282百万円

前期末比 4,447百万円減

純資産合計

57,586百万円

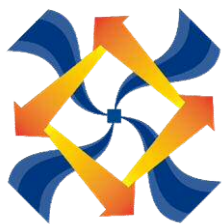
前期末比 1,108百万円増

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	当期	前期比
営業 C F	8,805	▲1,487
投資 C F	▲2,525	+707
財務 C F	▲5,480	▲3,917
増減額	775	▲1,604
期末残高	17,812	+775

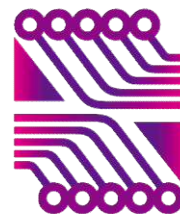
セグメント別概況



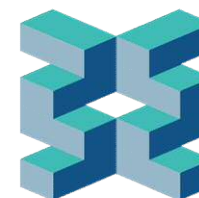
TRANSPORTATION



DAILY LIFE
& HEALTHCARE



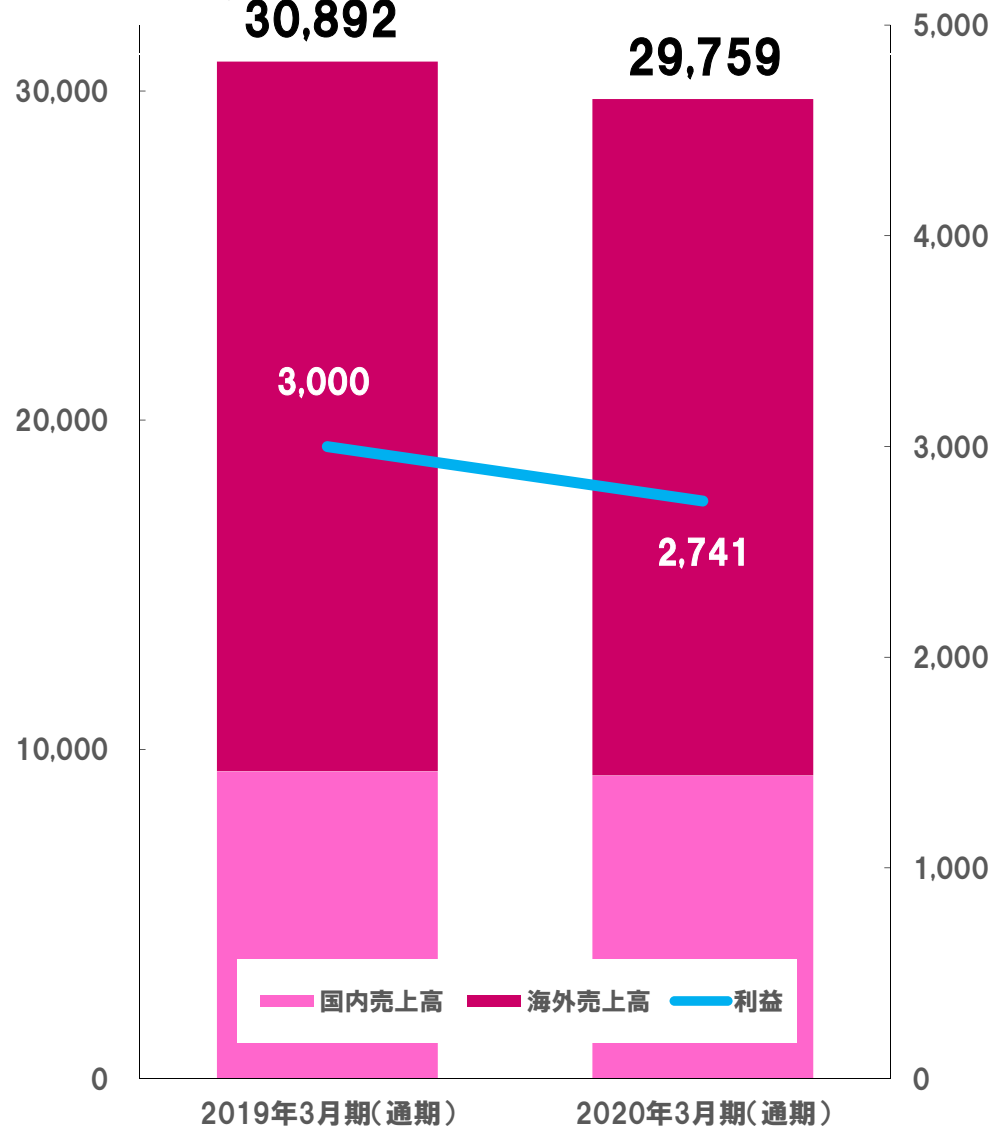
ELECTRONICS



BUILDING
& CONSTRUCTION

I Transportation (TR)

(単位：百万円)



2020年3月期

1,133百万円減収

259百万円減益

前期比3.7%減

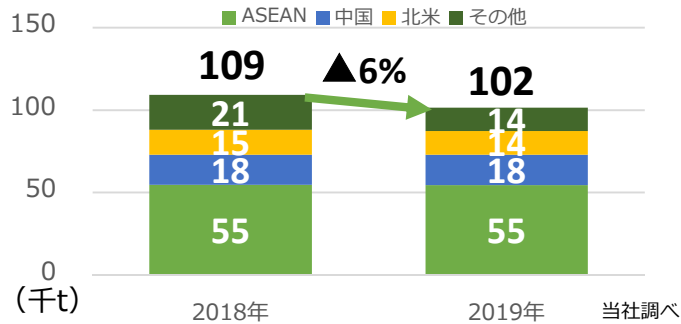
前期比8.6%減

- 国内では、自動車市場が9月以降低調に推移し、エラストマーコンパウンドの販売が減少し、減収。
- 海外では、ASEANの塩ビコンパウンドの販売は堅調に推移したが、北米、中国及びインド国の需要低迷により、塩ビ及びエラストマーコンパウンドが低調に推移し、減収。
- セグメント利益は、市況の影響、国内、ASEANでの設備投資等に伴うコスト負担増加の影響もあり減益。

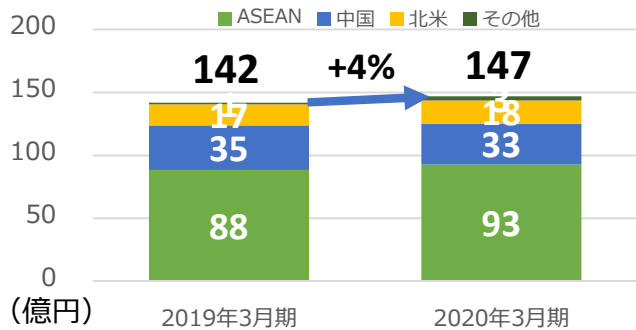
I Transportation (TR)

自動車用電装

日系ワイヤーハーネスメーカー地域別コンパウンド使用量動向



ワイヤーハーネス用コンパウンド売上高

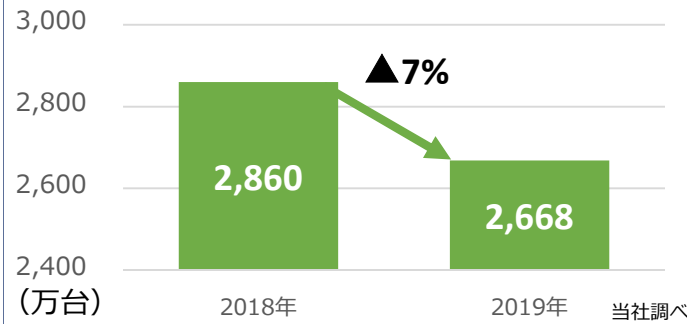


2020年3月期実績

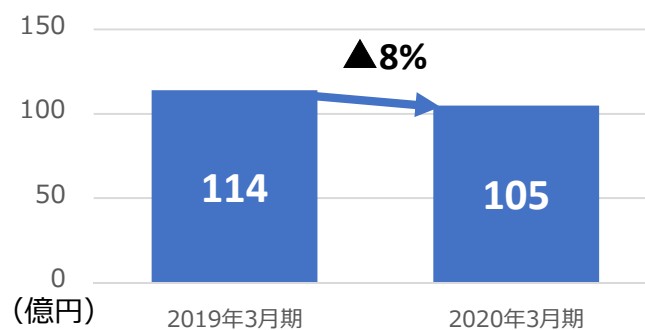
日系自動車メーカーの全世界生産台数の前年割れを受けて、日系ワイヤーハーネス用塩ビコンパウンドの市場も落ち込む中、軽量化ニーズを背景とした当社の強みである薄肉電線へのシフトが進行、前年比増収を実現。

自動車用成型部材

日系自動車生産台数動向



自動車内外装コンパウンド売上高

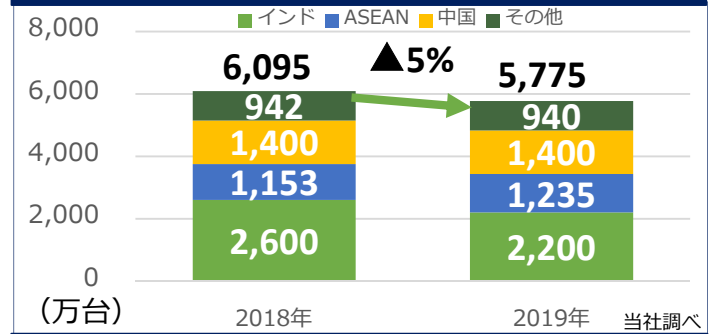


2020年3月期実績

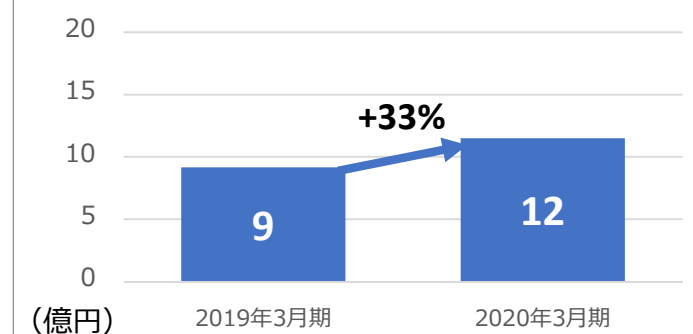
大手顧客からのシール部材用エラストマーコンパウンドの承認獲得等はあったものの、日系自動車メーカーの全世界生産台数の落ち込みを跳ね返せず、前年比減収。

2輪車用部材

2輪車生産台数動向



2輪車用部材コンパウンド売上高

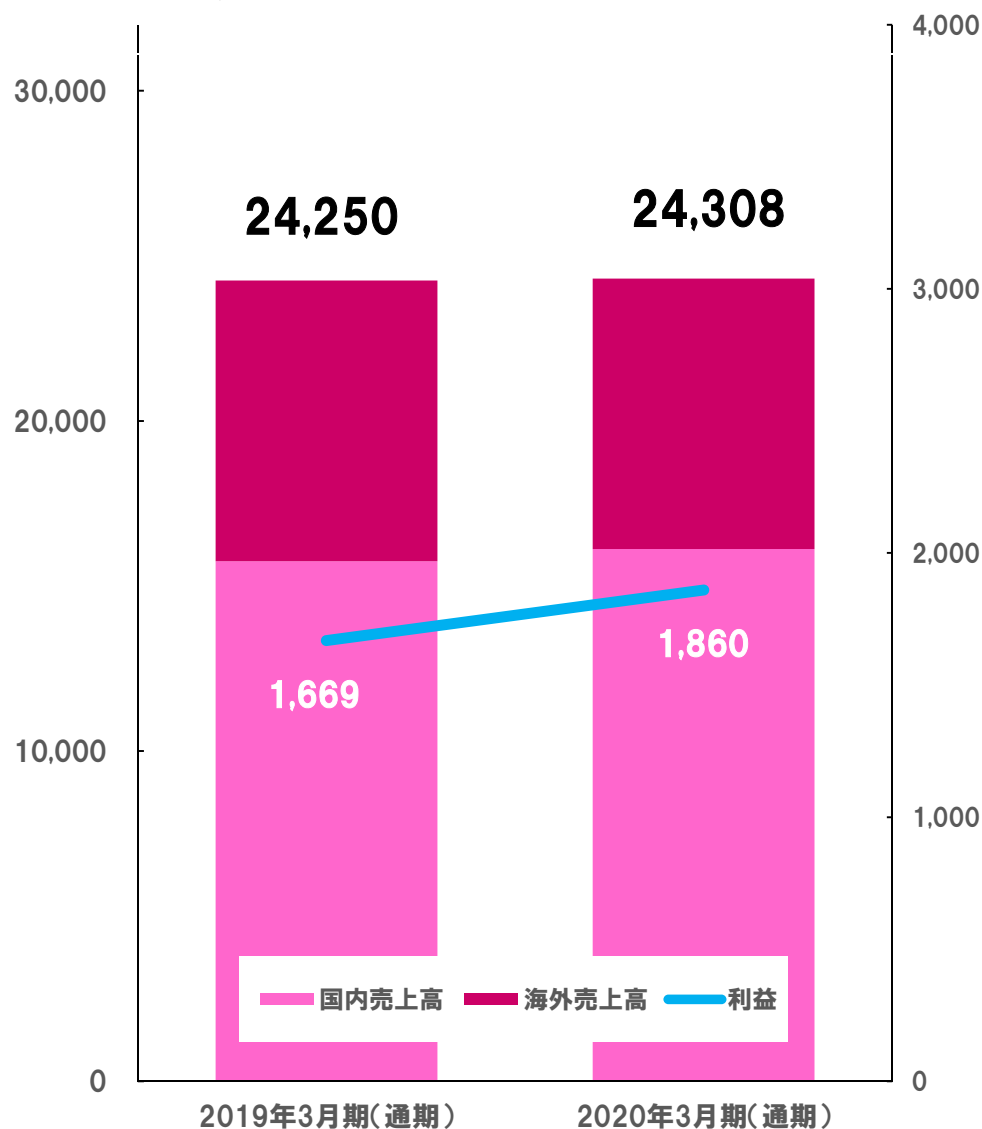


2020年3月期実績

全世界で2輪車市場が落ち込む中、インドネシアを中心に塩ビコンパウンドの販売を拡大、前年比大幅増収を実現。未開拓市場であるベトナム・インドでも当社材の新規顧客による評価が進捗。

Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

(単位：百万円)



2020年3月期

58百万円増収

191百万円増益

前期比0.2%増

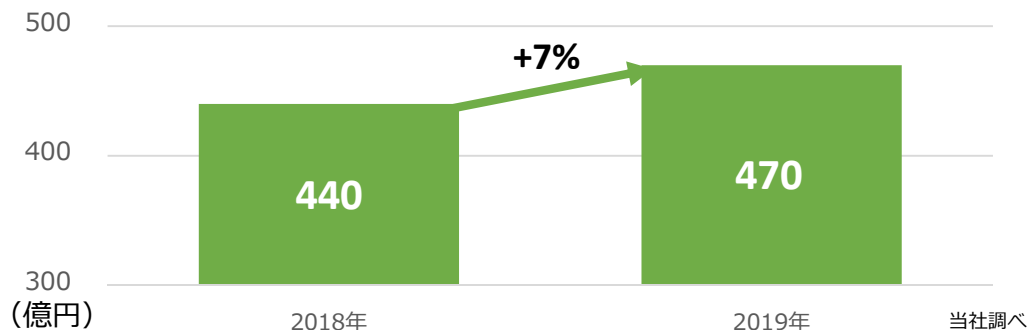
前期比11.4%増

- 国内では、生活資材市場向け塩ビコンパウンド及び家電用フィルムの販売が堅調に推移、食品包材市場ではラップ製品の拡販が進み増収。
- 海外では、医療市場向け塩ビコンパウンドの販売は堅調に推移も、ASEAN及び北米における生活資材市場の塩ビコンパウンド及び中国におけるラップ製品の販売が減少し、減収。
- セグメント利益は、生産性向上の寄与もあり増益。

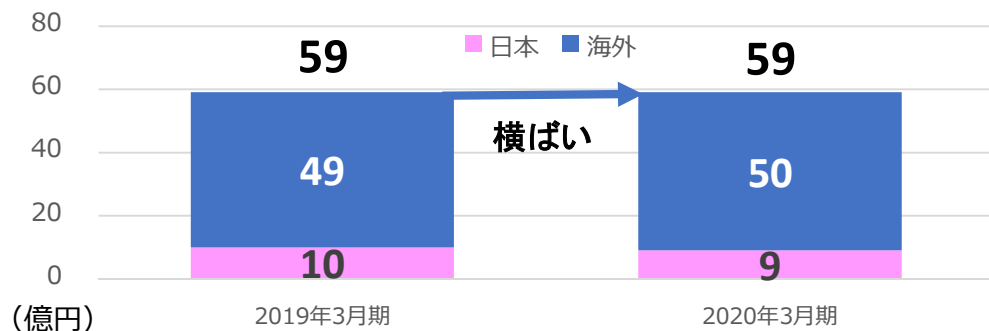
Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

医療用

医療用透析回路材料市場動向



医療用コンパウンド・フィルム売上高



2020年3月期実績

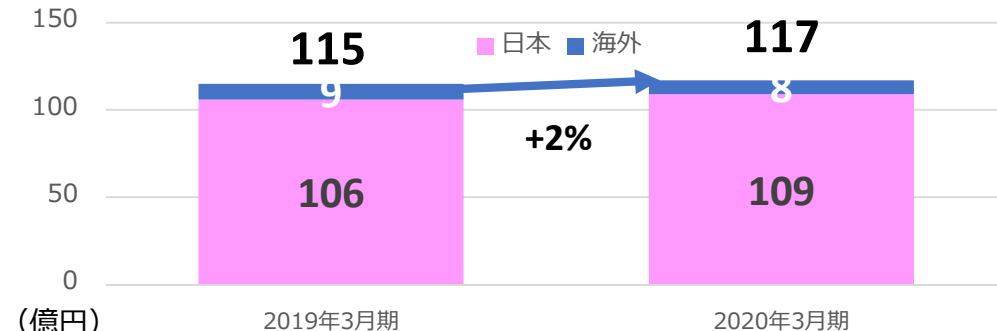
国内では、新規顧客へ高付加価値エラストマーコンパウンドの販売開始やフィルムの拡販はあるものの、一部顧客の海外への生産移管があり減収。一方、海外では、アジアでの塩ビコンパウンド拡販と共に、2021年3月期での拡販に向け、グローバル非日系の新規開拓活動を進めた他、顧客の生産設備増強に対応した顧客承認の取得も進捗。

食品包材

日本の業務用ラップ市場動向



食品包材売上高

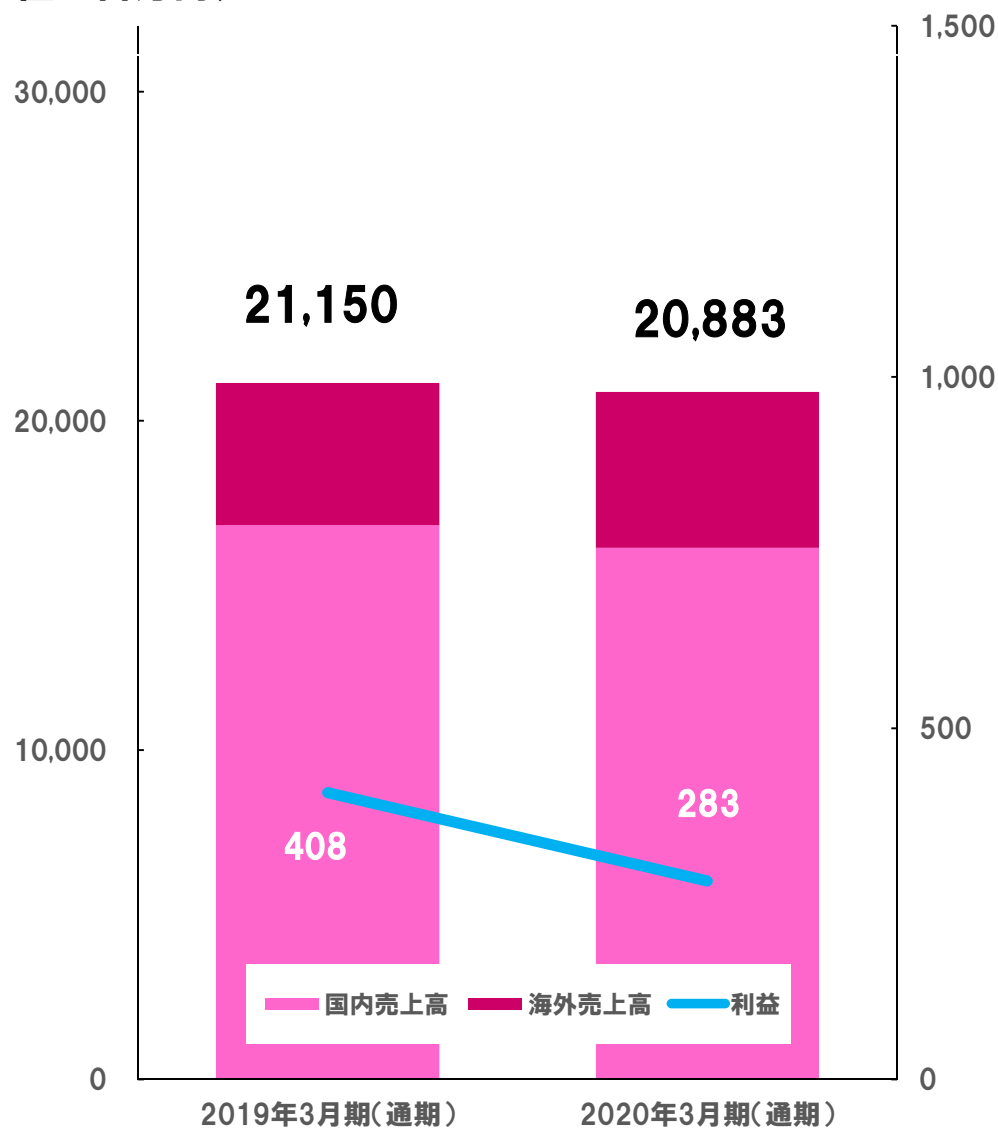


2020年3月期実績

包装機メーカーとの連携の進捗及び国内3拠点/海外1拠点の供給能力を活かした需要の取り込みにより業務用ラップが増収。また、小巻ラップでは、家庭用量販店向け販売を進めた他、エンドユーザー向けにInstagramを開始。

Ⅲ Electronics (EL)

(単位：百万円)



2020年3月期

267百万円減収

125百万円減益

前期比1.3%減

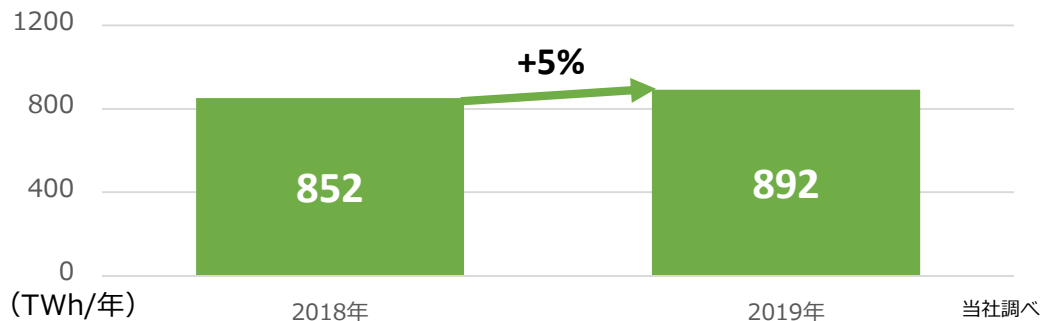
前期比30.6%減

- 国内では、エネルギー、情報通信市場における塩ビコンパウンド及び光学分野におけるフィルムの大型案件の売上が前年を下回り、全体としては減収。
- 海外では、中国情報通信市場での景気減速による販売減少の他、インドネシア電力ケーブル需要の低迷する中、北米電線市場での塩ビコンパウンドの販売増により増収。
- セグメント利益は光学分野での販売数量減少により減益。

III Electronics (EL)

電力・通信インフラ

ASEAN電力需要動向



電線用コンパウンド売上高

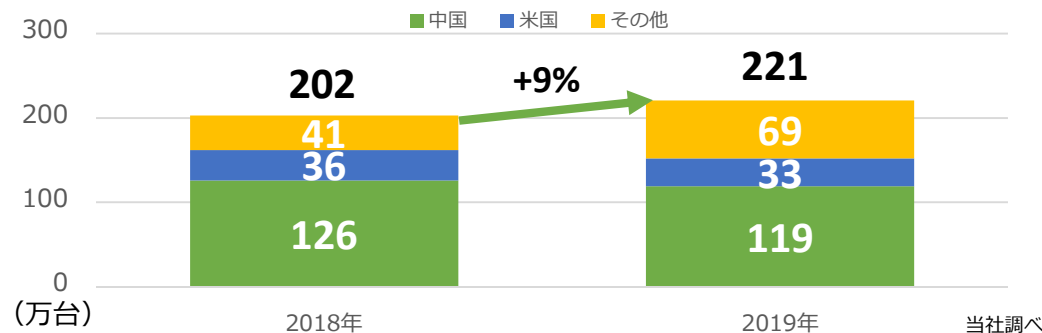


2020年3月期実績

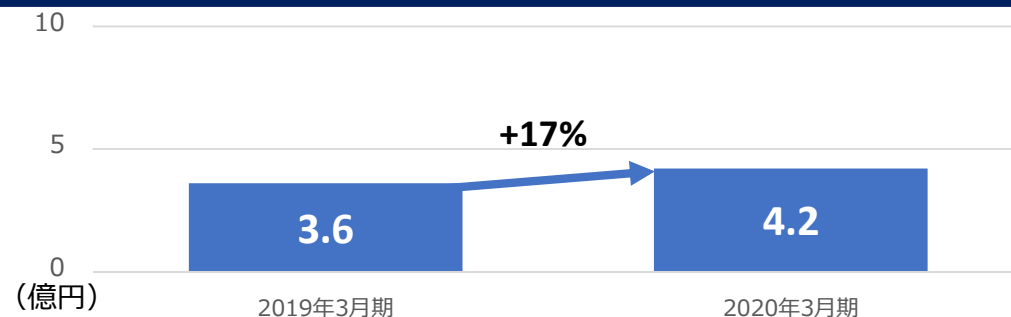
国内では電力ケーブル用塩ビコンパウンドが減収。一方、海外ではインドネシア電力ケーブル需要の低迷の影響を被る中で、北米の電線用塩ビコンパウンドの拡販により増収確保。電力需要の増加するアジア及び未開拓地域への拡販に向け活動中。

自動車周辺インフラ

EV/PHV生産台数動向



充電・センサーケーブル用コンパウンド売上高



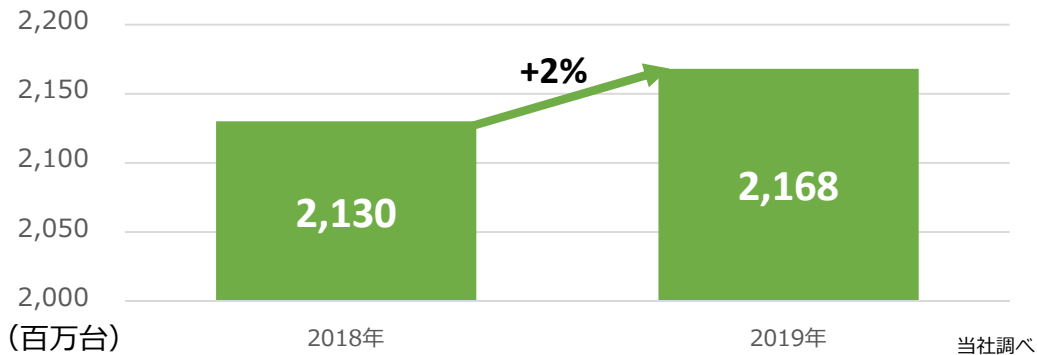
2020年3月期実績

国内外のEV/PHV市場が拡大する中、充電ケーブル用塩ビコンパウンドを中心に販売も拡大、中国向けの新規顧客獲得等もあり、前年対比で市場を上回る成長を実現。

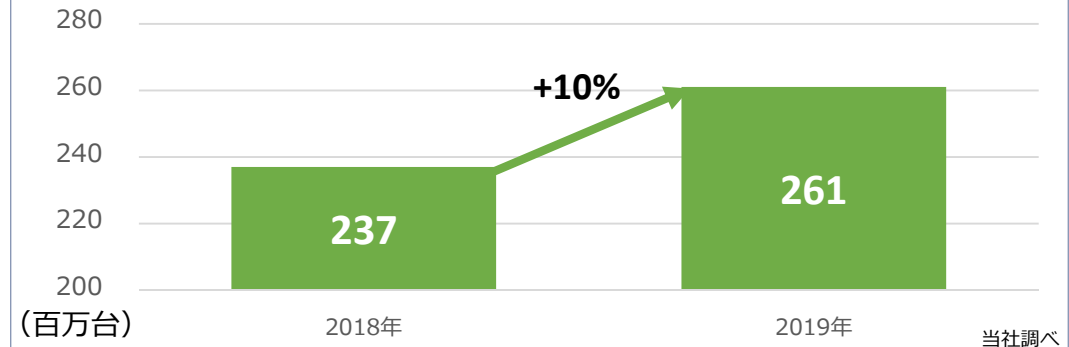
Ⅲ Electronics (EL)

光学フィルム

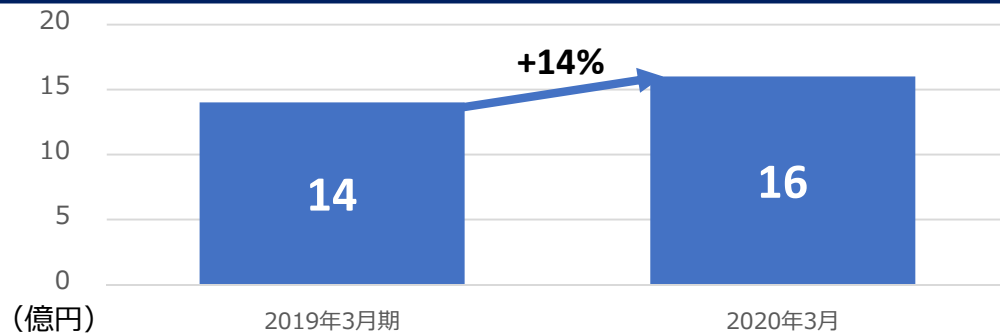
モバイル市場動向



非モバイル(車載EV・産業)動向



光学フィルム売上高



ターゲット用途例

◆車載用ディスプレイ



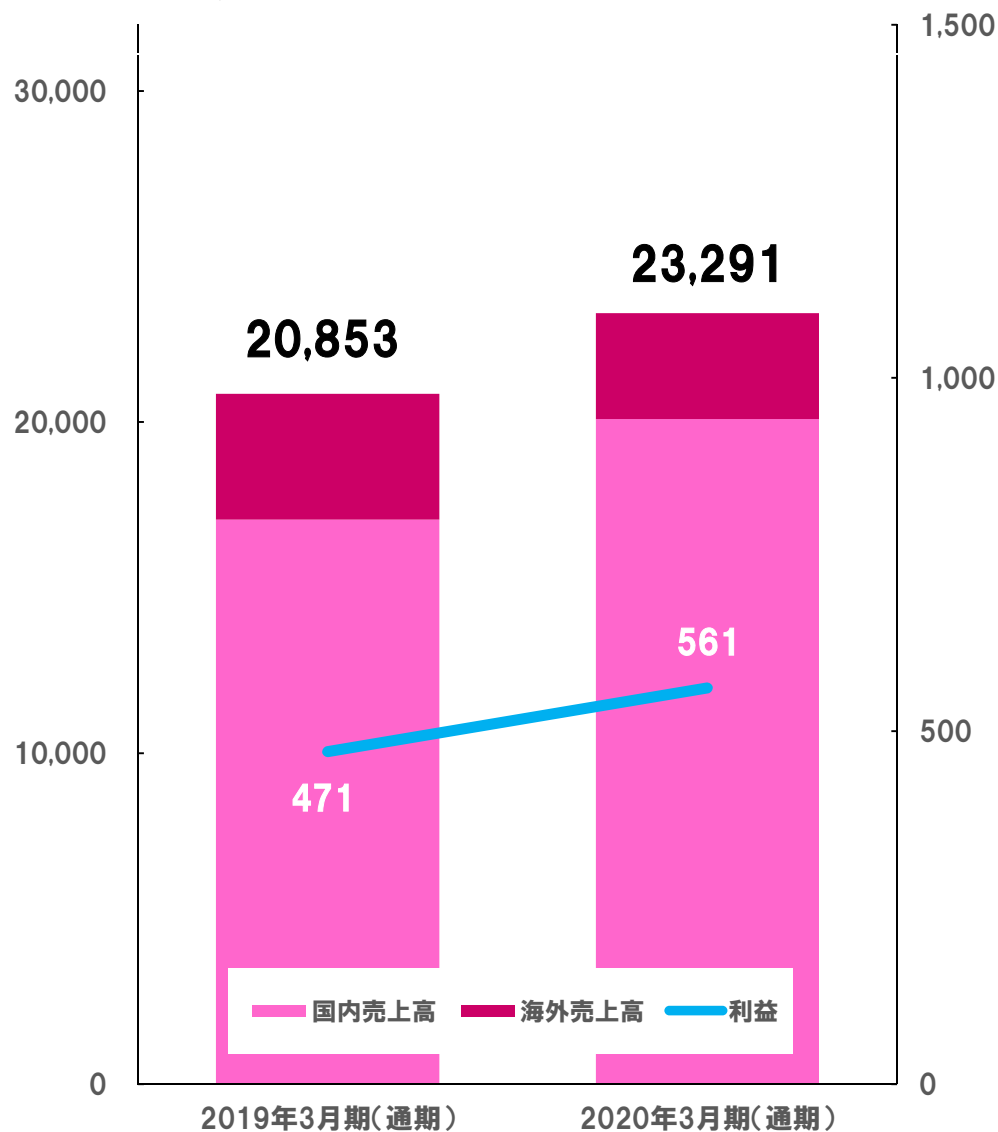
◆産業用ディスプレイ



抗ウイルス/抗菌機能を取り入れた高透明フィルム「リケガード」の開発と共に、自動車窓ガラス用遮熱フィルム「Ice-μ」の事業譲受実施。半導体関連も海外向けで伸長。

IV Building & Construction (BC)

(単位：百万円)



2020年3月期

2,438百万円増収

90百万円増益

前期比11.7%増

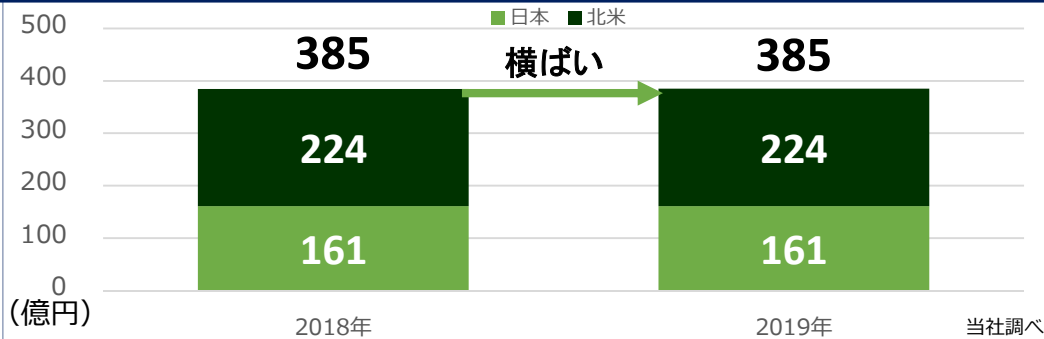
前期比19.1%増

- 国内では、非住宅市場におけるインテリアフィルムの新意匠の採用による販売増加、一昨年少会社化したデザイン会社の売上への寄与があり、増収。
- 海外では、北米における建築資材市場向け塩ビコンパウンド、欧州および中国におけるインテリアフィルムの販売が減速し、減収。
- セグメント利益は、国内での高付加価値品の販売増加により増益。

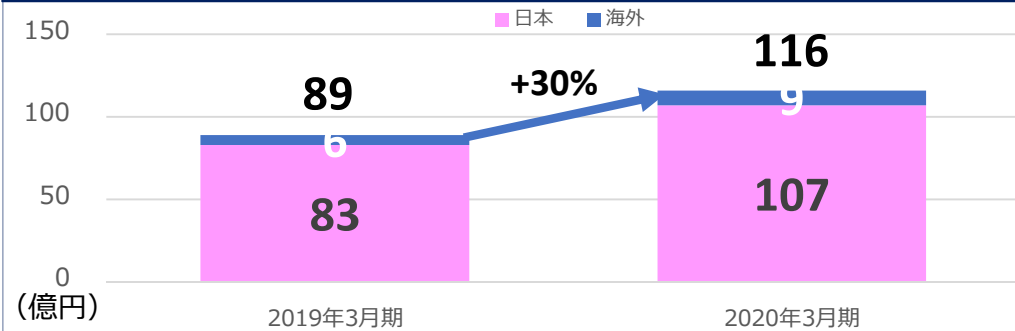
IV Building & Construction (BC)

インテリア

日本・北米 家具/壁装フィルム市場動向



インテリアフィルム売上高



2020年3月期実績

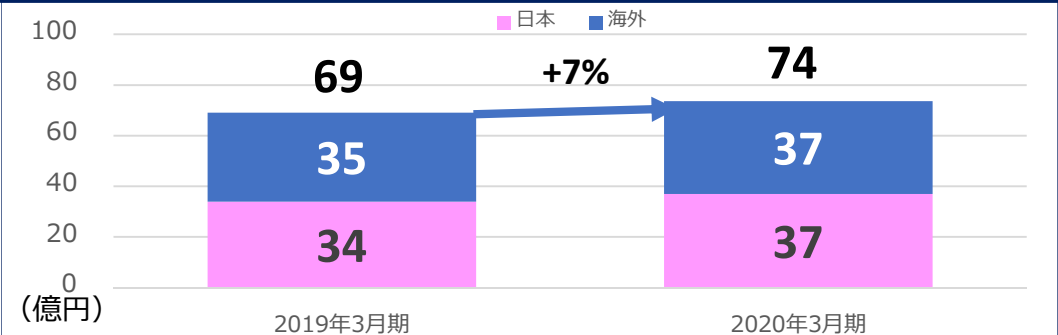
国内では、デザイン子会社の活用により非住宅市場での新意匠製品を拡販。また、デザイン子会社の売上への寄与により大幅増収。
海外でも、デザイン子会社の活用によりコスト競争力のある製品のデザインを強化して新市場にて拡販。また、高機能で3D成形性に優れる製品を北米・中国で販売開始。

住宅・建築資材

日本の住宅建築資材コンパウンド動向



住宅・建築資材コンパウンド売上高



2020年3月期実績

国内では、ハウスメーカーのZEH対応を狙った塩ビコンパウンドの拡販と共に、ホテル等の非住宅市場での拡販が進捗し、市場を大きく上回る成長を実現。海外でも、ASEANにおける非日系顧客への塩ビコンパウンド拡販が進捗し増収。

2021年3月期業績予想



2021年3月期 連結業績予想

【業績予想の前提】

- 新型コロナウイルス感染症による国内外経済の急激な悪化による影響に関しては、5月末での政府による緊急事態宣言の解除を念頭に置くものの、厳しい経営環境が特にこの先半年程度を中心とした業績に影響を及ぼすものと想定。



2021年3月期 セグメント別施策



Transportation

- 自動車用電装では、海外を中心に当社が強みとする自動車用薄肉絶縁材用塩ビコンパウンドを拡販。
- 自動車用成型部材では、国内で導入した新ラインを活用し、機能部材及びシール部材用エラストマーコンパウンドを拡販。海外でも展開を図る。
- 二輪部材では、インドネシア/ベトナムでのシェアアップと共にタイ/インド市場も開拓。



Electronics

- 電力通信インフラにおいては、国内でのエネルギー/情報通信市場における塩ビコンパウンド及び海外電線分野コンパウンドを拡販。
- 自動車周辺インフラでは、充電ケーブル用コンパウンド及びセンサーケーブル用コンパウンドを拡販。
- 光学フィルムでは、抗ウイルスフィルムの医療/モバイル/公共施設等への供給拡大と共に、抗ウイルス/抗菌と掛け合わせた複合機能材の開発。



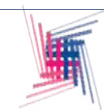
Daily Life & Healthcare

- 医療用では、国内でのエラストマーコンパウンド及びフィルムの拡販に加え、アジアでの日系顧客の増産に対応した塩ビコンパウンドの拡販及び非日系顧客の開拓。
- 食品包材では、業務用ラップ及び家庭用量販店向け小巻ラップの拡販に加え、包装機メーカーと連携した業務用ラップのグローバル展開。



Building & Construction

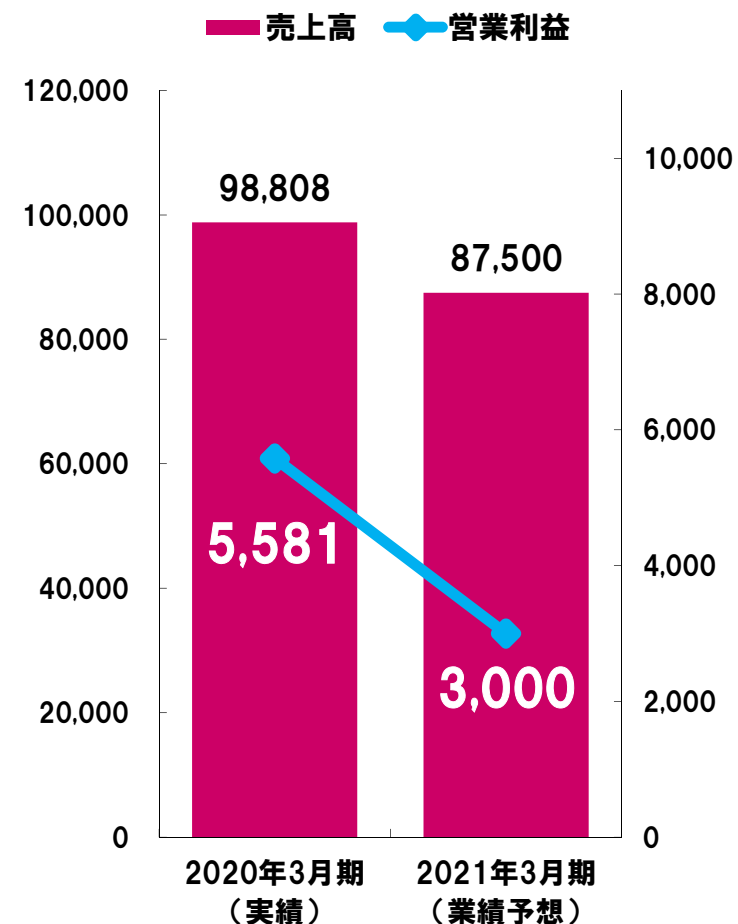
- インテリア分野においては、国内外ともデザイン子会社をフルに活用し、末端顧客への意匠性の高い塩ビ製品提案による拡販と共に、前期に参入した海外新市場での拡販を継続。
- 住宅・建築資材分野では、国内において引き続き非住宅市場での拡販に注力すると共に、海外では硬質塩ビコンパウンドの非日系顧客への拡販を推進。



2021年3月期 連結業績予想

科 目	2020年 3月期実績	2021年 3月期業績予想	増 減 率
売 上 高	98,808	87,500	▲11.4%
営 業 利 益	5,581	3,000	▲46.2%
経 常 利 益	5,670	2,800	▲50.6%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,064	1,000	▲67.4%
1 株 当 り 利 益	48.11	15.87	▲67.0%
R O S	5.6%	3.4%	▲39.3%

(単位：百万円、円)



【業績予想のポイント】

国内では食品包材・光学フィルム・リケガード等での拡販、海外ではベトナム拠点の成長を見込むものの、全体としては、新型コロナウイルス感染症による経済悪化の影響を跳ね返せず、減収減益と見込む。

RIKEN TECHNOS CORP.

すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して



MORE VALUE
TO ALL 2021

3カ年中期経営計画進捗

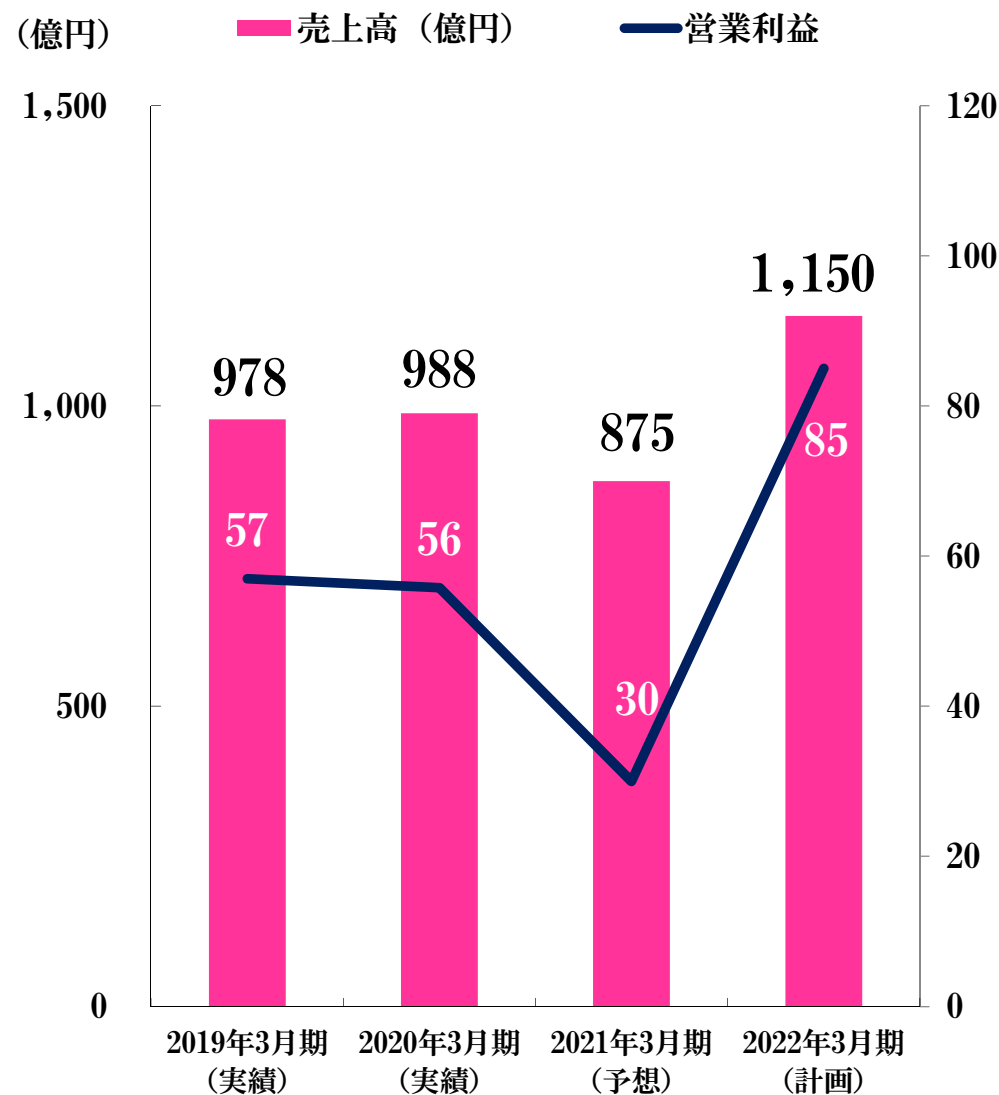


MORE VALUE TO ALL
2 0 2 1



計数計画

連結ベース	2020年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画最終年度)
売上高	988億円	1,150億円
営業利益	56億円	85億円
経常利益	57億円	85億円
当期純利益	31億円	50億円
ROS	5.6%	7.0%
ROE	6.2%	8.0%



前提条件 為替: ¥110/US\$ 国産ナフサ: ¥50,000/KL



5つの主要課題

1

グローバル経営の深化とシナジー

2

戦略思考による収益力向上

3

効率を極めた生産体制の実現

4

サステナブルな社会への貢献

5

人材育成とガバナンス重視の経営による
企業体質の強化

5つの主要課題

1

グローバル経営の深化とシナジー

海外拠点の経営のレベルの深化

グローバルにシナジーを発揮

2020年3月期実績

- 新セグメントでのグローバル運営を徹底、日本を含む各拠点間の連携が進捗。
- アジア地域でのコンパウンド事業に注力し、タイ・ベトナムで売上アップ。
- コニカミノルタより自動車窓ガラス用遮熱フィルム「ICE-μ（アイスミュー）」にかかる事業を事業譲受。



2021年3月期実施事項

- より一層のグローバル運営を推進。
- アジアにおけるコンパウンド事業戦略の更なる強化。

5つの主要課題

2

戦略思考による収益力向上

高付加価値製品の販売強化

効率的な利益の向上

2020年3月期実績

- 利益向上を目指してマーケット分析に基づく戦略を実行。
- 管理業務のシェアード推進による経費削減を実施。
- デザイン子会社であるIMIとの一体運営の進展。

2021年3月期実施事項

- シェアードの更なる拡張と子会社システム統合。
- IMIとの協働の更なる進展。
- コストダウンと顧客向けサービスを目的とした物流改革を実施。

5つの主要課題

3

効率を極めた生産体制の実現

生産の効率化

2020年3月期実績

- 新規高吐出エラストマーラインの増設
- 食品包材ラインの効率生産促進

2021年3月期以降の重点施策

- モデルラインへの自動化設備、設備故障の予兆管理システムの導入
- 工場共有設備の再構築によるエネルギーコストの削減

グローバルでのもの造り強化

2020年3月期実績

- 生産管理指標の統一
- コスト管理項目の統一

2021年3月期以降の重点施策

- リケンスタンダードの強化
- 海外拠点での生産性改善活動の強化

5つの主要課題

4

サステナブルな社会への貢献



持続可能な社会を目指し、主要課題に沿ってSDGsへの取組みを強化しております。
新しい取組みについては、トピックスでご紹介します。

- ①グローバル経営の深化とシナジー
- ②戦略思考による収益力向上



リサイクルできないゴム製品の代替となる熱可塑性エラストマーを拡販。



食品包材では
食品を衛生的に保ち
余った食品を保存する
などフードロス削減に貢献

- ③効率を極めた生産体制の実現



化学物質と廃棄物の適正な管理



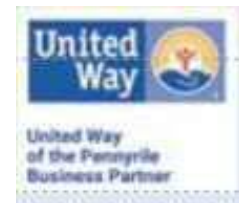
- ④サステナブルな社会への貢献



抗菌、抗ウイルスのリケガード製品の販売



- ⑤人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化



全主要課題共通のSDGs



すべての主要課題をステークホルダーの皆さまとのパートナーシップで解決してまいります。



5つの主要課題

5

人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化

グローバルに活躍できる人材の育成

グループガバナンスの強化

あらゆるステークホルダーに配慮した持続可能な経営の実現

2020年3月期実績

- ダイレクトリクルーティング、インターンシップ強化等採用手法の多様化実施。
- 人材強化を狙いとした人事制度・研修制度の見直し。
- 自社株買い(2,800千株)によるROEの改善。

2021年3月期実施事項

- 採用手法の多様化・研修制度体系の再構築によるグローバル人材の強化。
- コンプライアンスの徹底を継続。
- 資本政策(自己株活用等)による時価総額増強。

設備投資

3ヵ年中期経営計画での設備投資合計 計画:145億円

単位:億円 ※メンテナンスを含む。

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2020年3月期 (実績)	国内エラストマー増設 タイ ITシステム更新 効率化設備投資	43	38	15
2021年3月期 (予測)	研究開発センター増築 効率化設備投資	42	35	16
2022年3月期 (中計最終年度 計画値)	タイエラストマー増設 中国塩ビ増設 インドネシア塩ビ増設 効率化設備投資	52	36	16

トピックス①

抗ウイルス製品「RIKEGUARD®(リケガード)」

「RIKEGUARD®」は、抗ウイルス・抗菌性の製品です。

製品特徴

- 抗ウイルス性能: 製品上の特定のウイルスの数を**99.99%**減少。
- 抗菌性能: 製品上の細菌の増殖割合を**100分の1以下**に抑制。
- 安全性を認証するSIAAマークを取得したグレードを多数ラインアップ。
- フィルムは、信頼のSIAAマークを取得した世界唯一の透明フィルムであり、従来困難であった高い透明性を実現。 *抗ウイルスおよび抗菌の認証を受けた透明フィルムとして。2020年4月1日現在。



◆用途例

フィルム製品

- ・ディスプレイ表面用
- ・ウィンドウ用
- ・フェイスシールド用
- ・壁装用



コンパウンド製品

- ・グリップ材用
- ・キャスター用
- ・長靴用
- ・手摺りなど建材用



トピックス②

「ICE-μ(アイスミュー)」にかかる事業を事業譲受

コニカミノルタ株式会社より、2019年11月29日付で、
自動車窓ガラス用遮熱フィルム「ICE-μ(アイスミュー)」
にかかる事業を事業譲受いたしました。
今後は、重点地域であるアジアの自動車市場を中心に
さらなる拡販を目指してまいります。



トピックス③

「Blue Challenge」始動

独自の配合加工技術で生み出されるリケンテクノスグループのプラスチック製品は、創業以来、多くの産業を支え、豊かさ、安心、快適さをお届けしてきました。同時に、化学メーカーの責任としてサステナブルな社会へ貢献すべく日々、取り組みを続けています。これらの活動を「Blue Challenge」と称し、さらに強力に推進してまいります。取り組み内容は、随時発信してまいります。



「Blue Challenge」は、地球をより豊かにするためのリケンテクノスグループの挑戦です。

Blue Challenge

「RIKEN ブルー※」と地球を表します。
※リケンテクノスでは、コーポレートカラーとして「RIKEN ブルー」を使用しています。

リケンテクノスウェイのミッションで掲げている「チャレンジメーカー」に由来しています。
価値を生み出すために常に挑戦していく姿勢を表しています。

自己株式／転換社債型新株予約権付社債

自己株式取得（2019年7月31日決議）結果

取得した株式の総数 : 2,800千株
株式の取得価額の総額 : 1,353百万円
取得期間: 2019年8月7日～2019年10月31日

転換社債型新株予約権付社債（2015年3月19日発行）償還結果

発行価額 : 4,000百万円
転換金額 : 3,545百万円
転換株式数 : 7,558千株
償還金額 : 455百万円（2020年3月19日償還）

株主還元 ～配当金～

配当方針

連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行う。

(円)

	中間	期末	通期	年間配当性向 (連結)	純資産配当率 (%)
2018年3月期	6.00	6.00	12.00	28.8	1.6
2019年3月期	6.00	8.00	14.00	29.5	1.9
2020年3月期	8.00	8.00	16.00	33.3	2.1
2021年3月期 (予想)※	2.00	4.00	6.00	37.8	-

※2021年3月期については、業績見通しを踏まえ、6円配当。今後の業績動向に応じて適時適切に見直し。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見